

労働法コラム 第48回

「出入国管理法改正」

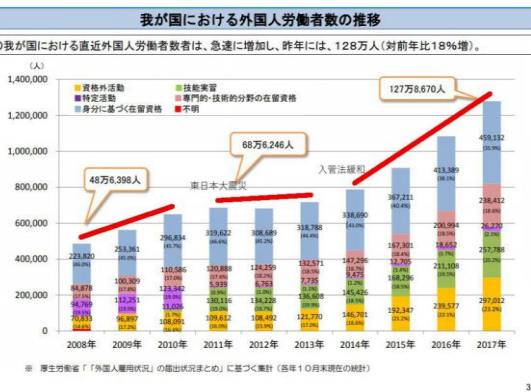


黒崎合同法律事務所

溝口史子 弁護士

12月8日、出入国管理法が改正されました。この改正は、人材不足を補うため、これまで認められていなかった単純労働等の一定の分野に属する相当程度の知識又は経験を要する技能を要する業務に従事する外国人(特定技能1号)や、同分野に属する熟練した技能を要する業務に従事する外国人(特定技能2号)に在留資格を与えるものです。

日本では、これまで、途上国への技術移転による国際貢献を図るといふ名目のもと、外国人を「技能実習生」として受け入れてきました。ところが、実際には、技能実習生は安価な「労働力」としてとらえられ、契約賃金・最低賃金以下の低賃金の下、受入先に



よる暴力等の人権侵害にさらされながら、劣悪な労働環境で酷使されています。「現代の奴隷制度」とまで称される実態は、国会の審議にあたり、野党が法務省から開示を受けた資料からも明らかになっていきます。法務省は、当初、受入先から失踪した外国人技能実習生の86.9%が「より高い賃金を求めて」失踪したと説明しましたが、野党の調査では失踪した技能実習生の67%が、低賃金を理由としていたことがわかっています。また、外国人技能実習生の死者数が2010年からの8年間で、少なくとも174人へのぼることも明らかとなりました。このほとんどが10〜30代の若者であるにもかかわらず、脳・心臓疾患死が35人にものぼっています。自殺者12人の存在も考慮すると、これらの死が過労

によるものである疑いは濃厚です。なお、改正法は、特定技能1号の労働者が家族を帯同することを認めておらず、孤独感から、外国人労働者がメンタルを病むおそれもあります。事故死も多く、多言語による安全衛生のための取組がなされているかも疑問です。

また、単純労働等の分野において、安価な労働力として外国人労働者が雇用されることにより、労働者全体の労働条件が低下することも懸念されます。外国人労働者を受け入れるのであれば、日本人と同等の賃金・安全衛生を保障するべきであり、労働者全体の労働環境が悪化することのないよう、きちんとした制度設計を行わねばなりません。

ところが、政府は、立法の背景について十分な調査を行わず、制

みんなで要求！みんなで行動！みんなで実現

2019年春闘が始まる！

◆ 12月9日(日) 10時から、福岡市第3階成ビル4階会議室で、2019年福岡県春闘共闘連絡会総会&討論集会在開かれました。討論集会は70人の参加で大きな盛り上がりを見せました。

記念講演は、上西充子法政大学教授による「働き方改革一括法」成立の元での労働組合の課題・役割という演題で90分間わかりやすく話してくれました。

◆ 北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は加盟組合代表者会議を開き17人の代表が参加しました。この会議では、北九州春闘共闘会議運営要項、役員体制について確認、2

019年春闘方針(素案)について協議、来春たたかわれる北九州市長選挙で「笑顔と希望の会」から立候補を予定しているながた浩一の推薦について確認。当面12月22日(日)開催の市民大集会(国際会議場)の成功をめざすこと、「笑顔と希望の会」に労働者の会を作り1月16日(水)18時30分から北九州市長選挙の勝利をめざす労働者の集いを開くことを確認しました。



北九州春闘共闘連絡会で、開会挨拶をする永富地区労連議長



福岡県民春闘連絡会総会で2019年春闘方針(案)を提案する福永事務局長

北九州地区労連ニュース

2018年12月号 No. 146

発行 北九州地区労働組合総連合
連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号
メール k_oren@ybb.ne.jp 093-921-0747
ホームページ http://www.geocities.jp/k_oren/



安達副議長の閉会挨拶の後、永富議長の音頭で団結ガンパロウで閉会しました。



第1号議案で、ながた浩一北九州市長選挙予定候補の推薦と政策協定案を採択確認後、評議員会会場で調印

「かちどろー！大幅賃金引き上げ 8時間働いて人間らしくくらしらせる社会」等のスローガンを確認
笑顔と希望の市民にやさしい北九州市に……… 2019年春闘方針(骨子案)・北九州市長選挙競争方針確認

北九州地区労連第74回評議員会でながた予定候補と政策協定締結

北九州地区労連は、12月7日(金)18時30分から戸畑区生涯学習センター会議室で、第74回評議員会を開き、2018年秋季期末闘争経過報告、第1・2四半期収支報告、2019年春闘方針(骨子案)、来春早々にたたかわれる北九州市長選挙方針案などについて、提案し協議しました。

第74回評議員会は、小橋副議長の開会挨拶で始まり、健和会労組高瀬評議員、福建労岡田評議員を議長団に選出し、永富議長が「労働者の賃上げは切実な課題だ。安倍首相は、アベノミクスの成果を強調しますが、生活は楽になっただでしょうか。確かに企業の内部留保は、443兆円を越す大もつけをしている状況ですが、2013年以降、労働者の実質賃金は右肩下がりで。来年早々には、市長選や福岡県知事選挙など統一地方選がたたかわれます。安倍

ながた候補と政策協定締結

議事の冒頭に1号議案として、笑顔と希望の会の北九州市長選挙ながた予定候補と7項目の要求で政策協定を結び、永富議長と締結された協定書を掲げがっちり握手。参加した評議員などからおおきな拍手で、北九州市長選挙がなされる決意が寄せられました。



議案の提案は堀田事務局長が行ないました

全ての議案は満場一致で採択

2018年秋季期末闘争経過報告、第1・2四半期収支報告、2019年春闘方針(骨子案)、北九州市長選挙競争方針(案)新規加盟組合の承認などについて堀田事務局長が、「2019年春闘は年始め早々の北九州市長選挙通常国会で改憲発議を企む安倍改憲とのたたかい、実質賃金の低

下に歯止めがかかっている現状で大幅賃上げを多胎取ることの重要性、格差と貧困をなくすために全国一律で位置精度の創設、職場での切実な要求の実現などの闘いに勝利するために民衆要求、みんなでたたかい、みんなで実現をめざして奮闘しよう。」と提案しました。学嘱労、国公、MITUなどの評議員が提案した議案について補強発言が有り、全ての議案は満場一致で採択されました。新屋しく副議長の閉会の言葉に続き永富議長の音頭で団結ガンパロウで閉会しました。

雨あがり

早いものでもう2018年も終わります。大好きの自分としては、犬の名を冠する年が去りゆくことに寂しさを感じています。寂しさといえばスペースワールドがもうないということを改めて実感するのも年末だからでしょうか。

皆さんの2018年はどんな年だったでしょうか。良い一年だったという方もいれば酷い一年だったという方も、もちろんそれぞれの一年があったかと思えます。そんな一年も終わり、年が明けた1月には私たちの生活に大きく関わる北九州市長選挙が実施されます。多選批判を公言していた現職市長が4選をめざし立候補を表明しました。この12年間の市政で私たちの生活はより良くなってきたでしょうか。そう感じる人もいるでしょう。そうでない方もいるでしょう。しかし自らの公約を守ろうとしないその言動に誠実さはあるでしょうか。

数年後の北九州で多くの人が「この街も良い感じになったね」と言えるかどうか。私たちはその岐路に立っています。「誠実さ」が虚しい言葉になる世の中にしないためにも、どちらに進むかは私たちの選択次第です。(藤)

公契約条例制定、全国一律最低賃金制度の創設、学校給食を直営実施に等の要求で 2018年秋期年末闘争前進地域一日総行動に述べ120人が参加

11月30日、2018秋季・年末闘争で「安倍改憲・労働法制改悪NO、賃上げと安定雇用で地域活性化」などの要求課題で北九州地区労連は、一日地域総行動を取り組みました。述べ120人が参加し、早朝の門司・小倉・戸畑・黒崎駅での宣伝行動を皮切りに北九州市の雇用開発課や教育委員会として商工会議所への要請を行い、18時半からは、「働き方改革」について問題点と勝ち取った成果を学習し、これからどう生かすことが必要かを学びました。

公契約条例で9割が改善につながる

北九州市への要請では、公契約条例制定や全国一律最低賃金制度の実現、学校給食の民間委託中止などを求めました。

直方市では、公契約条例を制定し、委託関連企業にアンケートを実施しています。今年アンケート結果では、「成果があった」が4割を超えています。前回期待できない」と答えた企業がありました。今回はゼロであり、条例制定が労働条件改善にプラスであることは間違いありません。



公契約条例、全国一律最低賃金制度、民間委託を中止。直営に戻せ。

制度実現と時間給1000円を求めました。

給食は、食育！委託撤回を

学校給食の民間委託が11月28日に教育委員会から提案され、市職労と学嘱労が交渉をしていますが、地区労連としても子どもたちの食育としての給食を守る立場とそこに働く労働者の権利を擁護する立場で要請を行いました。

現在126校が委託され、今回4校が委託されれば離島と分校、特別支援を除く全ての学校が委託となります。委託が順調かと言ふとこれまで独自に調査したところ衛生管理や調理手順で様々な問題があり、教育委員会へも改善を求めています。今年4月からは、正規の調理員に仕事が付加され給食管理士として、委託給食の実態を訪問して調査し、改善を求める制度が始まったばかりです。また、来年度は20の校が契約

見直しの時期であり、拙速すぎることに調理パートの職がなくなることは、パートの雇用がなくなることであり、首切提案でもあることなど訴えました。

雇用開発課と教育委員会は、「要請はしっかり伝えて、今後に生かしたい」と答えました。

働き方改革の前進面と、4月施行に向けたたたかい

18時半からは、戸畑生涯学習センターで「働き方改革関連法」にどう対抗・対応するか、全労連雇用労働法制局長の伊藤さんをお呼びして学習しました。

第一次安倍政権が導入に失敗



した「ホワイトカラーエグゼンブション」を教訓に見せかけの規制と「企業が一番活躍しやすい国をつくる」ための労働者への毒をませこぜにし、9つの法律が関連しているにも関わらず一括で徹底審議もせず強行したことは、国会軽視・民主主義無視です。

しかし、法案強行の中で全労連は、市民と野党の共闘の力で労働時間や有給休暇等に関する法制度などで歯止めをかけています。

36協定の締結と労働基準局への届け出は同じですが、「特別条項の内容を明記することが必要」になり、休日労働もこれまで対象外でしたが、時間外にカウントされます。

36協定指針には、限度時間を超えて労働させる場合に講ずべき「健康福祉確保措置」について記述されており、勤務間インターバル・深夜業回数規制、一定時間超えた労働者への医師の面接指導、代償休日・特別休暇なども締結が留意すべき事項となっており、春闘に向け労働組合の役割がますます重要だと確信できた1日総行動の締めくくりに学習会でした。



11. 30一日行動は、市内4駅道で7:00から取り km れ梯 m ス



働き方改革一括法とのたたかいについて学習確信の持てる学習会でした。

笑顔と希望あふれる 市民・労働者にやさしい市政へ

憲法を暮らしにいかす「公共事業を生活密着型に」企業の身勝手なりストラNO!」など7項目の要求で合意
組立員、家族、友人、知人などあらゆるつながりをいかした声かけとワンコインカンパの取り組み 任意)を
第74回評議員会で採択された北九州市長選挙闘争方針の実践を!

北九州市長選挙の投票日は1月27日投票です。告示日まで20日。投票日まで36日と短期決戦です。北九州地区労連は、「北九州市民の会」の一員として、政策作り、候補者選考、政治確認団体結成に向けての取り組みなどに積極的に参加してきました。

その結果、11月中旬に政治確認団体準備会、予定候補の決定、事務所確保が出来、11月24日に政治確認団体結成のついで(250人参加)、12月2日事務所開き



事務所開きで花ラバを受け取るながた予定候補

(150人参加)そして12月22日に市民総決起集会(450人参加)北九州市長選挙をたたかう体制ができました。

ながた候補を先頭に一気に圧倒的な宣伝と声かけを

「笑顔と希望の会」の三輪事務局長は、22日開催の市民総決起集会で、①すべての構成員に選挙資材を届け、告示までに10万の声かけをやろぬこう。②準備されているチラシ、ハンドマイク宣伝、二ニューズカー運行など圧倒的

な宣伝で雰囲気を変えよう! ③それぞれの組織での政策学習を強めよう!と訴えました。

候補者抜群(青年政治家)

笑顔と希望の会の政策抜群

ながた候補は、候補者を受諾してから、連日北九州市内を駆け回っています。各区の商店街周りでは、商店リニュー

し大きく期待が広まっています。街頭で演説をするたびに話を聞いてくれる方も増え、市政に対する要求なども寄せられています。

ながた候補の推薦とワンコインカンパの取り組みを急こう

アル制度に大きな期待が集まっています。又、青年のつどいでは、返済のいらぬ給付型奨学金制度に質問が集中

北九州地区労連は、「笑顔と希望の市民にやさしい市政を取り戻すために、『笑顔と希望の会』から立候補するながた浩一氏を市長候補として推薦し、北九州市長選挙闘争を2019年春闘の序盤の極めて大切なたたかいと位置づけ全力をあげてたたかうことを確認しています。



第74回評議員会で政策協定に調印する永富北九州地区労連議長とながた北九州市長予定候補

第74回評議員会で確認している「市長選挙闘争資金として組合員一人500円の任意カンパの拠出、組合員一人10人の声かけ運動を成功させる。」事が求められています。北九州地区労連、労働者に対する期待は極めて強いものがあります。

北九州市長選挙勝利、労働者決起集会(仮称)の成功を!

「笑顔と希望の会」から、労働者決起集会を1月中旬に開いてほしいとの相談があり、12月29日(土)13時30分から『笑顔と希望の会』事務所労働者決起集会を開くための打ち合わせを行います。北九州地区労連加盟組合、春闘共闘連絡会加盟組織、協力・共同の組織に呼びかけ成功をめざします。

◆ 打ち合わせ会議

とき 12月29日(土) 13時30分から
笑顔の会 事務所



12・22市民大集会在国際会議場で開かれ、450人の労働者・市民が参加しました